

現成長戦略・新成長戦略・地方版総合戦略について

1 現成長戦略の総括について

(1) 現成長戦略の成果、課題等について

別添「成長戦略の取組、成果等」のとおり

(2) 新成長戦略に向けて必要な視点等について

戦略名	必要な視点等
【現戦略 1】 都市イメージ「ブランドあきた」の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいの創出に向け、人を惹きつける地域資源の活用という観点から、戦略の充実が必要 ・従来の「芸術・文化」「スポーツ」に、「観光」という要素も加え、これらを有機的に連携させ、相乗効果を生み出すことが重要
【現戦略 2】 地域産業の競争力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化や環日本海貿易による販路拡大などの取組を雇用創出につなげるには、事業規模の拡大が必要 ・農業は、工夫と努力で伸びる余地がある分野であるが、高齢化からの脱却と新たな人材確保の観点からは、法人化を進めていくことがポイント
【現戦略 3】 観光あきた維新	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田市だけでなく広域連携の中で魅力を高める取組が重要 ・大森山動物園と男鹿水族館、千秋美術館と県立美術館などの連携事例もあるように、他都市や他県とのネットワークや、情報発信のチャンネルを多く持つことが必要
【現戦略 4】 環境立市あきたの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然を地域資源として活用することが必要である。 ・素朴な田園風景やきれいな空気、災害の少なさなども本市の魅力・資源として捉え、人を呼び込むことを意識した取組が必要
【現戦略 5】 エイジフレンドリーシティ（高齢者にやさしい都市）の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者になったときに、支えられる側だけでなく支える側にもなるという視点をもってもらうことが必要 ・エイジフレンドリーは、啓発から実践の段階に進んでおり、健康づくりの観点で保健所とも連携しながら、「いきいきと暮らせる」をキーワードにした取組も必要
【現戦略 6】 次世代の育成支援	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少問題に直結する取組であり、今まで以上に重要 ・これまでは、生まれてきた子どもへの支援が中心だったが、今後は「生みやすい」がキーワード ・生まれる前から大学まで、ライフステージに応じた対策が必要

(3) 市民意識調査の結果について

ア 昨年度の市民意識調査で、各成長戦略事業の重要度と満足度を尋ねた。

イ 重要度は、「戦略6 次世代の育成支援」が最も高く、「戦略4 環境立市あきたの実現」が最も低かった。

ウ 一方、満足度は、「戦略4 環境立市あきたの実現」が最も高く、「戦略2 地域産業の競争力強化」が最も低かった。

エ 重要度の評価点から満足度の評価点を差し引くことによりニーズ度（市民が市に取り組んでもらいたいと考えている度合い）を算出したところ、「戦略6 次世代の育成支援」が最も高く、「戦略4 環境立市あきたの実現」が最も低かった。

※詳細は、別添「秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅲ 調査結果報告書」参照

2 新成長戦略（案）設定の基本的考え方について

次期総合計画では、人口減少問題を喫緊の最重要課題と位置づけ、重点的に取り組む「産業雇用」、「芸術文化・スポーツ・観光」、「環境」、「子育て」、「健康長寿」を柱として、新たな成長戦略を設定する。

戦略名	戦略設定の基本的考え方
【新戦略1】 地域産業の振興と雇用の創出	産業経済基盤を強化することは、地域の活力を高め、本市の成長を牽引することにつながる。また、市民意識調査では、「少子化の要因」や「住み続けるために必要なこと」として、「不安定な雇用の改善や収入の増加」が多くあげられたことなどから、本戦略を設定する。
【新戦略2】 芸術文化・スポーツ・観光による都市の魅力向上	芸術文化・スポーツ・観光などの地域資源を活かした魅力あふれるまちづくりは、人々を引きつけ、新しい人の流れを生み出すことにつながることから、本戦略を設定する。
【新戦略3】 豊かな自然を活かした環境立市の確立	本市は豊かな自然環境を有しており、環境分野はポテンシャルの高い成長分野である。地球温暖化対策や地産エネルギーの活用などを通じ、環境と経済の好循環の確立につなげることを目指し、本戦略を設定する。
【新戦略4】 子どもを生み育てやすい社会づくり	市民の子育てに対する希望を実現し、元気な秋田市を次代に引き継ぐことは、本市の成長の基盤となる。また、市民意識調査では、現戦略6「次世代の育成支援」の市民ニーズ度が最も高く、「子育て」は産業・雇用と並ぶ重要分野であることから、本戦略を設定する。
【新戦略5】 いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり	市民の健康・長寿は、元気な秋田市づくりの根本である。また、超高齢社会において、健康でいきいきと暮らせる社会の実現は、市民の幸せに直結するものであることから、本戦略を設定する。

3 成長戦略と地方版総合戦略の関係について

- (1) 地方版総合戦略では、国の総合戦略で定める政策分野を勘案して市の政策分野を定めるとされている。
- (2) 下図右欄の政策分野①～④は、国と同様に定めることを想定している。また、秋田市独自の政策分野として、「⑤（仮）高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進める」の追加を想定している。
- (3) これらの政策分野は、新成長戦略を概ね包含することから、新成長戦略の要素を政策分野に取り込む形で整理する。

